

7 . 河川空間の利用状況

7 - 1 河川の利用状況

1)上中流部

上中流部の河川空間には、白水の滝、沈墮の滝や陽目溪谷、神原溪谷などの景勝地が点在し、季節になると水辺は自然探勝や行楽に訪れる人々で賑わいを見せる。また、清らかな水環境を生かした溪流釣りや緒方川の「原尻の滝川越祭り」等の伝統的行事や「大野川かわあそびフェスティバル」、「ドンコ釣り大会」等の親水レクリエーション行事がある。

2) 下流部

下流部では比較的広い高水敷をスポーツ広場、ゴルフ場、採草地に利用している。スポーツ広場は大野川と派川の乙津川に整備され、多くの人々に利用されており、平成9年度の河川水辺の国勢調査によれば年間推計でスポーツ6万6千人、釣り4万5千人、水遊び2万9千人、散策等18万人、合計32万人と沿川住民に広く利用されている。

また、白滝橋を出発点とした下流鶴崎橋までの間で、手作りイカダによる「大野川イカダ下り大会」が毎年催され、多くの市民に親しまれている。

乙津川は浄化対策事業と環境整備事業によって清流がよみがえり、市民の憩いの場になっている。また、大野川からの導水路は、ヘラブナ釣り、水遊び等を楽しむ事が出来る親水広場として親しまれている。

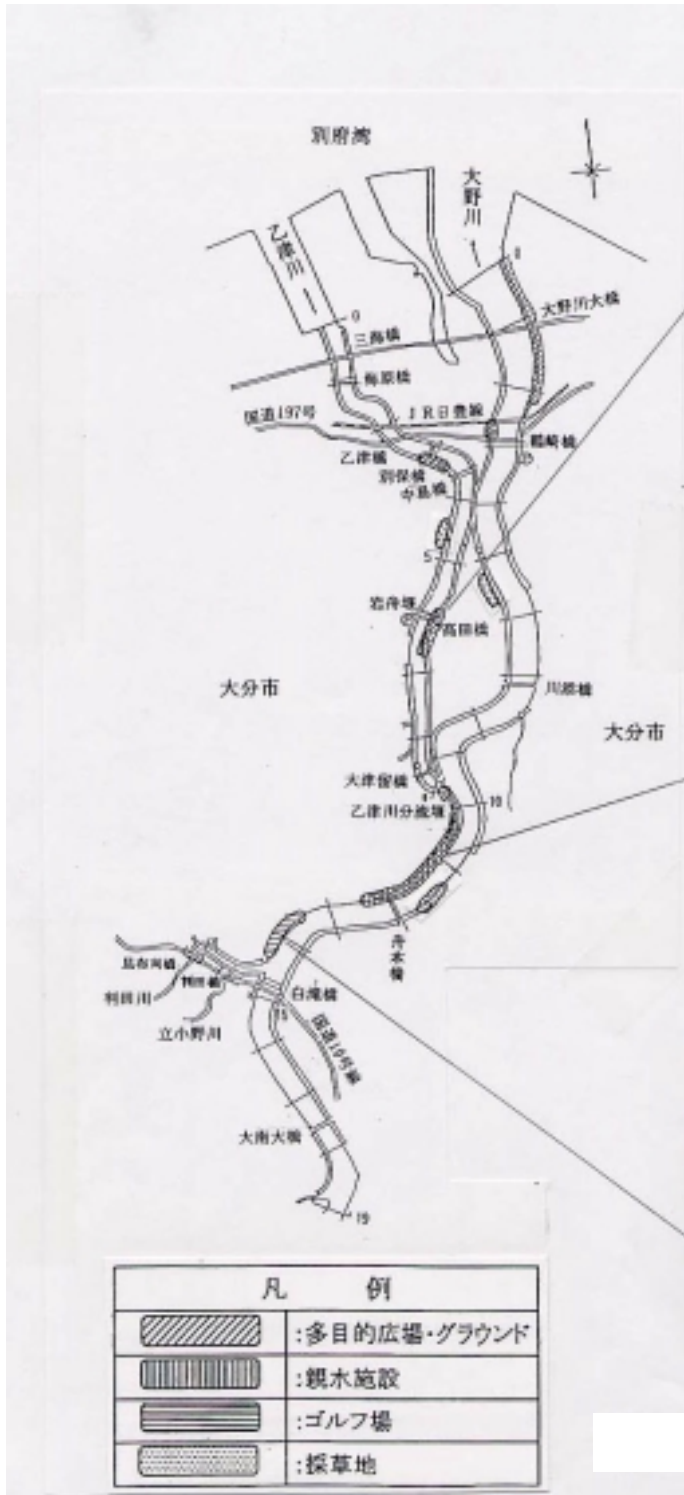


大野川河下り大会 (白滝橋～鶴崎橋付近)

大野川の白滝橋を出発点とし、約12km下流の鶴崎橋付近までを手作りのイカダで、「時間を競うレース」と「仮装によるオリジナリティ」を競う大会が毎年7月に行われている。

7 - 2 高水敷の利用状況

大野川下流部は高水敷が整備され、多目的の広場やゴルフ場、採草地等に利用されており、直轄管理区間内には下図に示すとおり 9箇所である。



高水敷の運動広場（乙津川高田橋付近）
サッカー、野球場グラウンドとして多く利用されている。



大野川本川（大野川河口から11km付近）
乙津川導水路でのミニキャンプ



高水敷のゴルフ場（判田川合流点下流付近）

判田川合流点下流付近はミニゴルフ場として市民に利用されている。

高水敷の利用状況図